

第52号 ふるさとあやめ通信



新発田市から

首都圏へおじゃまします！

新発田市が参加する首都圏でのイベントを紹介します。
お近くの方がいらっしゃいましたら、ご参加ください。お待ちしております！！



えびな市民まつり

新発田市と神奈川県海老名市は、令和3年11月から「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。この繋がりを受け、両市の子供たちが交流するスタディーツーリズムの実施や、「えびな市民まつり」への参加を通し、交流を深めているところです。今年も「えびな市民まつり」に参加します。ぜひお越しください

開催日 令和7年11月16日（日）

会場 海老名運動公園
住所：海老名市中新田3291-19

時間 午前10時～午後6時30分



▲ 昨年の様子

農産物や新発田牛の牛串などを販売する予定です！新発田の名産をお買い求めください♪

JOIN移住・交流&地域おこしフェア

全国から約300の自治体が集まり、自治体の担当者から直接話を聞くことができるイベントです

皆さんの周りにも、移住や地域おこし協力隊に興味がある方がいらっしゃいましたら、このイベントをご紹介ください

開催日 令和7年11月22日（土）・23日（日）

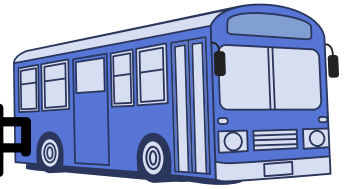
会場 東京ビッグサイト 東7ホール

時間 22日（土） 午前11時～午後5時
23日（日） 午前10時～午後4時



※ご来場にあたっては、事前登録が必要です。詳しくは「JOIN」で検索してください

駅から月岡温泉へ楽々アクセス！ 直行バスの実証運転 実施中



月岡温泉を起点に新発田駅や新潟駅を結ぶ直行バスについてご紹介します
市街地の賑わい創出を図るべく実証実験として来年1月まで運行を行う予定です！
この機会に、ぜひ月岡温泉へお越しください

運行期間：令和7年1月12日（月・祝）まで（予定）

『新発田市二次交通実証実験事業』

月岡温泉直行バスで 駅から楽々アクセス!

毎日運行!!

直行バスで城下町めぐりがもっと気軽に楽しめる!!

新潟駅 月岡温泉 新発田駅

新潟駅⇄月岡温泉（定員45名）

片道 1,500円（小人料金同額、ただし大人1人1台乗車の場合は無料）※支払いは現金のみ

▶新潟駅 → 月岡温泉

出発時刻	到着時刻
13:00	14:00
15:50	16:50

▶月岡温泉 → 新潟駅

出発時刻	到着時刻
10:50	11:50
14:35	15:35

月岡温泉⇄新発田駅（定員40名）

片道 大人500円 小人300円※支払いは現金のみ

▶月岡温泉 → 新発田駅

出発時刻	到着時刻
9:30	9:55
11:15	11:40
16:10	16:35

▶新発田駅 → 月岡温泉

出発時刻	到着時刻
10:35	11:00
15:30	15:55
17:15	17:40

市街地観光も一緒にお楽しみください！

月岡温泉から新発田駅の直行バスを利用すれば市街地観光も気軽にお楽しみいただけます。

11月の1ヶ月間は「観光アンバサダー」による誘客促進の取組も行っていますので、ぜひご利用ください！

※観光アンバサダーとは

新発田市出身または市にゆかりがある方で、市に深い理解と愛着を持ち、新発田市をPRできる方に務めていただいているものです。新発田市の魅力や楽しみ方の情報発信などを行っています

内容

観光アンバサダーが新発田駅でお客をお迎えします
市街地観光の見どころなどをお伝えし、お土産や飲食でお得にご利用できるクーポンの配布を行います

対象

11月の毎週土曜日、日曜日、祝日の午前9時55分に新発田駅に到着するバスの利用者

蔵春閣は新発田駅から徒歩3分♪



蔵春閣や新発田城の見学、お土産品の購入や飲食など、街歩きしながら城下町の風情が色濃く残る秋の市街地観光を存分にお楽しみください♪



ふるさとあやめ通信の配信について

これまで「ふるさとあやめ通信」を郵送でお届けしてきましたが、来年度より「LINE」での配信に変更となります。新発田市公式LINEに友達登録していただき、ぜひ今後も「ふるさとあやめ通信」をお楽しみください。なお、ホームページへの掲載は今後も継続されますので、そちらでもご覧いただけます

LINEで「ふるさとあやめ通信」を受取るための設定方法

① まずは、「友達登録」をお願いします！

LINEアプリの「ホーム」>「友達追加」>「QRコード」をタップ



下の二次元バーコードを読み込む>「新発田市公式LINE」を追加



「友達登録」完了！



② 次に「ふるさとあやめ通信」を受取る設定をお願いします！

友達登録後は、画面下部のメニューからアカウントの情報を登録してください



性別や年代、お住いの地域などを選択>「求める情報」で「しばたサポーターズ」を選択>「送信」

これで登録は完了です ✓

「ふるさとあやめ通信」が発行されると
LINEにお知らせが届きます！

ここで選択した情報がLINEが届きます
他にも、受信したい項目があれば選択してください

新発田市では、現在15名の地域おこし協力隊が活躍しています。数ある活動地の中から、新発田を拠点として選んだ協力隊員に、「新発田」についてお聞きしました。

地域おこし協力隊とは … 都市地域から過疎地域等へ移住して、概ね3年間の任期の中で「地域協力活動」をしながらその地域への定住・定着を図る取組



まつした かえで
松下 楓

令和7年3月1日着任
米倉集落を拠点にして
有機の里交流センター
とふれあい農園のお手
伝いや、農作業などに
取り組んでいます

初めて来たときは新発田の町を流れる水路の水草が、水になびいているのがあまりにも綺麗で、素敵な城下町だなくらいに思っていました。実際に住むと、どんどん魅力が出てきて、一言で言うと「何でもある」というのが今の新発田の印象です。

山・川・海の恵み、美味しい農畜海産物、あるのが当たり前と思われがちですが、そう思えるほどすごく豊かな場所であり、それに加え歴史もあり、風情ある商店街もある。高齢化など課題はありますが、少しずつ形を変えながらも何でもある新発田がこれからも続いていくのがすごく楽しみであり、私も携わっていきたいと考えています。

海から山までとても広い新発田ですが、私は山側の米倉集落に住み活動しています。協力隊の活動としては、米倉の有機の里交流センター、ふれあい農園、農産物直売所米倉ねむの木のお手伝い、集落行事の参加、農作業などを行っています。



▲ねむの木の市での活動



地域おこし協力隊という名ではありますが、いつも米倉の方たちの人の良さに助けられて活動できています。畔の草刈りや江浚いなど、中山間地域の農村には、管理をしている住民がいるからこそ、守られている日々の生活があることを、米倉に住んで初めて気づかれ、農村部が元気であることの大切さを知りました。

若者の減少や耕作放棄地、空き家の増加など課題はたくさんあるのが現状です。「昔はよかったね」という言葉はよく耳にしますが、「今も負けてないね」と言えるように、これからも課題に向き合い、今ある豊かさを大切にし地元の方たちと楽しく活動していきます。

◀神明マルシェでの出店の様子

(「よねくらし」として米倉の新米や野菜、果物を販売)

